アクセスマップ

砂川遊水地管理棟（砂川市）
住　　所：砂川市西５条南８丁目
Ｔ Ｅ Ｌ：(0125)52－3141
開館時間：9：00～17：00
入 場 料：無料
開館期間：4月上旬～3月下旬
休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始
※施設はバリアフリー対応、トイレは2箇所完備

砂川遊水地　または　流域の学習施設　検索

●災害時に役立つ情報サイト

携帯電話からのアクセスQRコード

国土交通省ハザードマップポータルサイト
http://disapotal.gsi.go.jp/

国土交通省川の防災情報
http://www.river.go.jp/

気象庁ホームページ
http://www.jma.go.jp/

災害時の連絡や安否確認に
災害伝言ダイヤル 171
※大規模災害が発生した場合は携帯電話からも安否確認ができる「災害用伝言板サービス」も提供されています。

あしたを創る 北の知恵
北海道開発局
札幌開発建設部
滝川河川事務所
樺戸郡新十津川町字中央89番地
TEL（0125）76-2211

令和2年10月更新

豊かさと安心が調和するオアシスパーク

砂川遊水地

Sunagawa Retarding Basin

国土交通省　北海道開発局
札幌開発建設部　滝川河川事務所

石狩川の洪水と治水の歴史

あの洪水は、今も流域の人々の記憶に刻まれています

石狩川砂川市（明治 31 年 9 月）

砂川北高校付近（昭和 37 年洪水）

国道 12 号北 3 丁目付近
砂川郵便局前（昭和 37 年 8 月洪水）

石狩川奈井江町奈井江大橋（昭和 56 年 8 月洪水）

砂川市中央市場の土のう積み作業（昭和 56 年 8 月洪水）

石狩川左岸 砂川市街の浸水状況（昭和 56 年 8 月洪水）

石狩川 砂川新水路付近の浸水状況（昭和 56 年 8 月洪水）

石狩川の主な既往洪水被害の概要

洪水発生年月	気象原因	代表地点雨量（mm/3日）	石狩大橋地点観測流量（㎥/s）	被害等
明治31年9月	台風	札幌 158 旭川 163	不明	被害家屋約18600戸 浸水面積約1500k㎡ 死者112名
明治37年7月	台風・前線	札幌 177 旭川 152	8350（注１）	被害家屋約16000戸 浸水面積約1300k㎡
大正11年8月	台風	札幌 66 旭川 105	不明	被害家屋約9200戸 浸水面積約不明 死者7名
昭和36年7月	低気圧・前線	札幌 140 旭川 125	4515	被害家屋約23300戸 浸水面積約523k㎡ 死者11名
昭和37年8月	台風・前線	札幌 203 旭川 95	4410	被害家屋約41200戸 浸水面積約661k㎡ 死者7名
昭和41年8月	前線	札幌 58 旭川 62	4529	被害家屋約9600戸 浸水面積約260k㎡ 死者5名
昭和50年8月	台風・前線	札幌 175 旭川 193	7533	被害家屋約20600戸 浸水面積約292k㎡ 死者9名
昭和56年8月上旬	低気圧・前線・台風	札幌 294 旭川 296	11330	被害家屋約22500戸 浸水面積約614k㎡ 死者2名
昭和63年8月	停滞性前線	札幌 66 旭川 119	5759	被害家屋約2000戸 浸水面積約65k㎡
平成13年9月	前線・台風	札幌 153 旭川 169	6598	被害家屋約70戸 浸水面積約38k㎡

注1：石狩川治水計画調査報文(明治42年)による

北海道の未来を担う石狩川流域

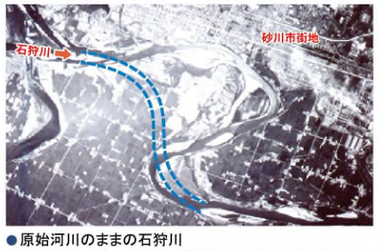
悠々と流れてゆく石狩川。この雄大なる流れは北海道の暮らしや産業を支える母なる存在そのものであり、北海道人口の約半数に当たる３００万人の人々がその流域で暮らしています。しかし河川沿いに広がる平野は広大な低湿地帯であったことから、かつて石狩川流域でひんぱんに洪水氾濫が発生していました。

大正時代から昭和へと、ショートカットや堤防など河川の改修が進むにつれ、しだいに氾濫は減少してきましたが、その一方、流域の急速な開発や都市化に治水施設の整備が間に合わないという状況を迎えました。川の間近や低湿地に及ぶ住居地、さらに河川に流れ込む水も増大し、ひとたび洪水氾濫が起きるとその被害も大きく、昭和５６年８月の洪水では約１千億円にも上る被害となっています。

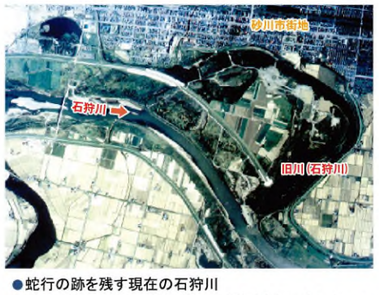
総合的な治水対策事業の一環として

時代に歩調を合わせるように、日々発展する石狩川流域。この急激な発展に対応するためには河道掘削や堤防の強化などの河川改修を中心とした、「川だけ」の治水では流域の発展・変化に対応することが困難です。

このような背景の中で、それまでの治水計画が見直され、昭和５７年３月に石狩川の工事実施基本計画が改定されました。この新しい基本計画は、堤防強化のほかに、河道の拡幅、ダム、遊水地、放水路など、さまざまな治水対策を組み合わせた総合的な計画となっています。砂川遊水地は、その計画の一環としてつくられたもので、石狩川流域の安全度を大幅に高める画期的な治水対策として建設されました。



●原始河川のままの石狩川
蛇行が大きいために洪水が発生し、砂川の市街地も多大な被害を受けました。(昭和 34 年撮影)



●蛇行の跡を残す現在の石狩川
ショートカットにより氾濫は大幅に減少しました。しかし、流域の安全をより高め、新たな憩いの空間を創造するために蛇行跡を利用し、砂川遊水地がつくられています。(昭和 52 年撮影)

砂川遊水地のアウトライン

あふれでる水を一挙にためこむ巨大な貯水池

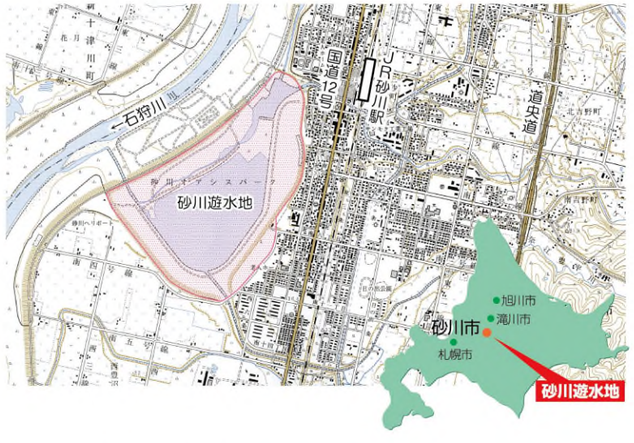
砂川遊水地の概要

●昭和62年着工～平成７年運用開始

石狩川の中流部や下流部には人口や資産が集中しています。遊水地は水害から流域を守るために河川の中流・下流の低平地に作られ、上流ダム群では調節しきれない洪水を調節します。砂川遊水地は石狩川の中流、空知川と合流点付近に造られたもので、貯め込む水量は 10,500,000 ㎥であり、下流域の水位低下に大きな効果をもたらします。

砂川遊水地は、こういった「安全性の確保」「水害に強いまちづくり」とともに、常に豊かな水を湛える憩いの空間として「潤いのある河川づくり」「水辺の生物の環境づくり」といった総合的な観点から建設されました。

●砂川遊水地位置図

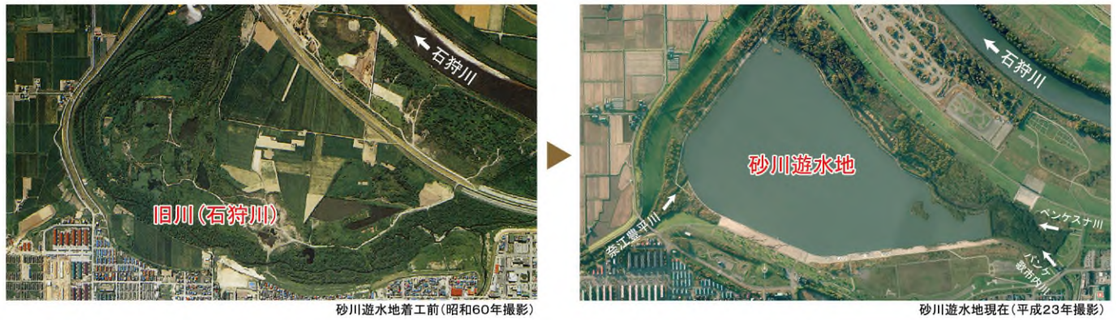


●砂川遊水地一般平面図

砂川遊水地計画諸元

区間	KP85.00～KP86.75延長1.75km
計画築堤高	EL26.15m
計画高水位	H.W.L24.15m
越流堤高	21.65m
遊水地有効貯水量	約10,500,000m³
遊水地湛水面積	約180ha
遊水地湛水面積	約160ha
遊水地常時湛水面積	約 70ha
越流堤	1ヶ所
排水門	1門
水門	1門
樋門	1門

●砂川遊水地着工から完成まで



砂川遊水地着工前（昭和60年撮影）
砂川遊水地現在（平成23年撮影）

砂川遊水地のしくみと効果

いつでも澄んだ水を遊水地へ、石狩川へ

台風等による大雨の影響で石狩川の水があふれないよう、洪水時は巨大な貯水池として石狩川の水を貯め込む砂川遊水地。平常時は遊水地内や周辺の利用ができるのもこの施設の特徴です。

砂川遊水地のしくみ

石狩川で洪水が発生した場合、越流堤から石狩川を流れる水の一部を遊水地の中に貯め込み、石狩川の水位を下げます。遊水地に貯まった水は、洪水が終わってからから排水門をあけ、ゆっくり安全に石狩川下流へ流します。

通常時

憩いの場として開放され、釣りやジェットスキー、各種イベント等に利用されます。

洪水時

川から溢れそうになった石狩川の水は越流堤から遊水地に流れ込み、石狩川の水位を下げます。

洪水後

遊水地に貯まった水は、洪水が収まってから排水門をあけ、ゆっくりと安全に下流に流します

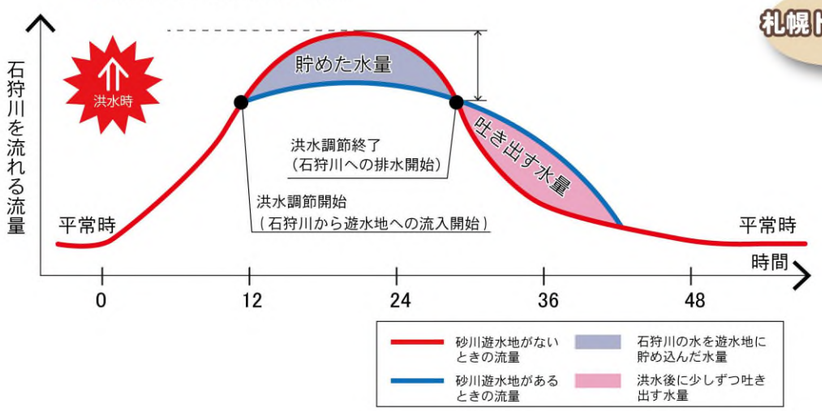
【洪水時、石狩川の水を遊水地に貯める事によって洪水を緩和し、流域の安全を守ります】

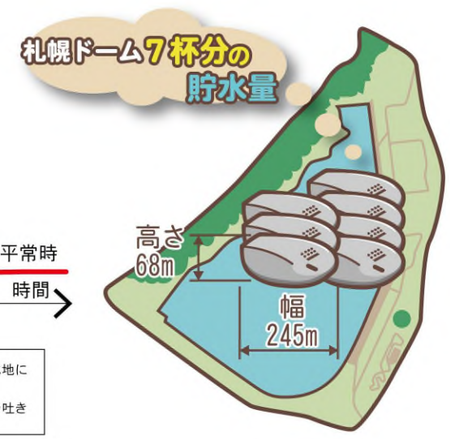
砂川遊水地の効果

遊水地は洪水時には１,０５０万㎥の川の水を貯め、石狩川に流れる水の量を減らし、流域の安全を守っています。

その水量は札幌ドーム（１５８万㎥）の約７個分になります。

●砂川遊水地の仕組みと効果





砂川遊水地の施設マップ

①～③

河川情報掲示板

洪水時に遊水地内や遊水地の外にいる人達へ情報を伝えます。

④～⑧

警報局舎

洪水時に遊水地内や遊水地の外にいる人達へ危険を警報します。

⑨～⑫

水位計

洪水調整や遊水地の安全利用のため水位を計っています。

⑬

遊水地排水門電気室

停電があった場合、排水門操作をするため発電を行います。

⑭

パンケペンケ電気室

パンケ歌志内川水門ペンケ歌志内川樋門の操作をするため発電を行います。

⑮

無線鉄塔

滝川河川事務所と砂川遊水地管理棟を結ぶ専用通信施設です。

砂川オアシスパーク周辺ガイドマップ

美しい施設が演出する水辺空間

悠々と流れ行く石狩川のほとり。美しい砂川の町を背景に誕生した「砂川遊水地」は、流域から洪水の不安を流し去ります。また、平常時には砂川市や地域と一体となった施設づくりを通じ、住民の方々が憩いの時間を過ごす場として釣りやヨット、水上バイク等さまざまな利用がされています。

植樹活動

自然環境を大切にするため、地元団体による植樹を行っています。

THE祭(イベント) <7月上旬>

全国から集まったよさこい踊りの仲間たちが、総力を結集して祭りの本質を伝えます。

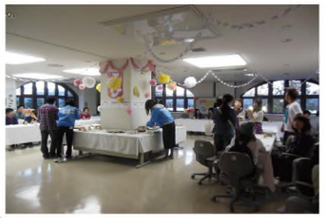
地元団体により毎年ワカサギの放流が行われています。

ワカサギ釣り <1月~2月>

砂川オアシスパークでは、ワカサギ釣りを無料で行うことが出来ます。
管理棟は冬場も開放しており、毎年多くの人々で賑わいます。

市民交流会(イベント)

地元の方々が主催の砂川の魅力を伝える交流会等が行われています。



防災フェスティバル(イベント) <7月下旬>

防災講演会や災害体験装置を使い、遊びを通じて防災体験学習を行うことが出来ます。他にお祭り広場もあり無料で参加できます。

管理棟の噴水池 <7月~8月>

管理棟の横にある噴水池には、各地からたくさんの子どもたちが遊びに来ます。

石狩川下覧櫂(イベント) <7月中旬>

川下りを通して河川愛護のＰＲと夏の遊水地の楽しいひと時を過ごせるのが、この「川下り大会」。
太鼓演奏、よさこい踊りなどイベントも盛りだくさんです。

ラブ・リバー砂川夏まつり(イベント) <8月上旬>

砂川オアシスパークの夏の風物詩とも言えるのが「ラブ・リバー砂川夏まつり」です。行燈みこし、太鼓演奏、歌謡ショー、納涼花火大会など、毎年趣向を凝らした様々な企画が催され、砂川市内外から多くの市民が集います。

レンタサイクル <5月~10月>

砂川市と協力のうえ、管理棟で無料で自転車を貸し出しています。